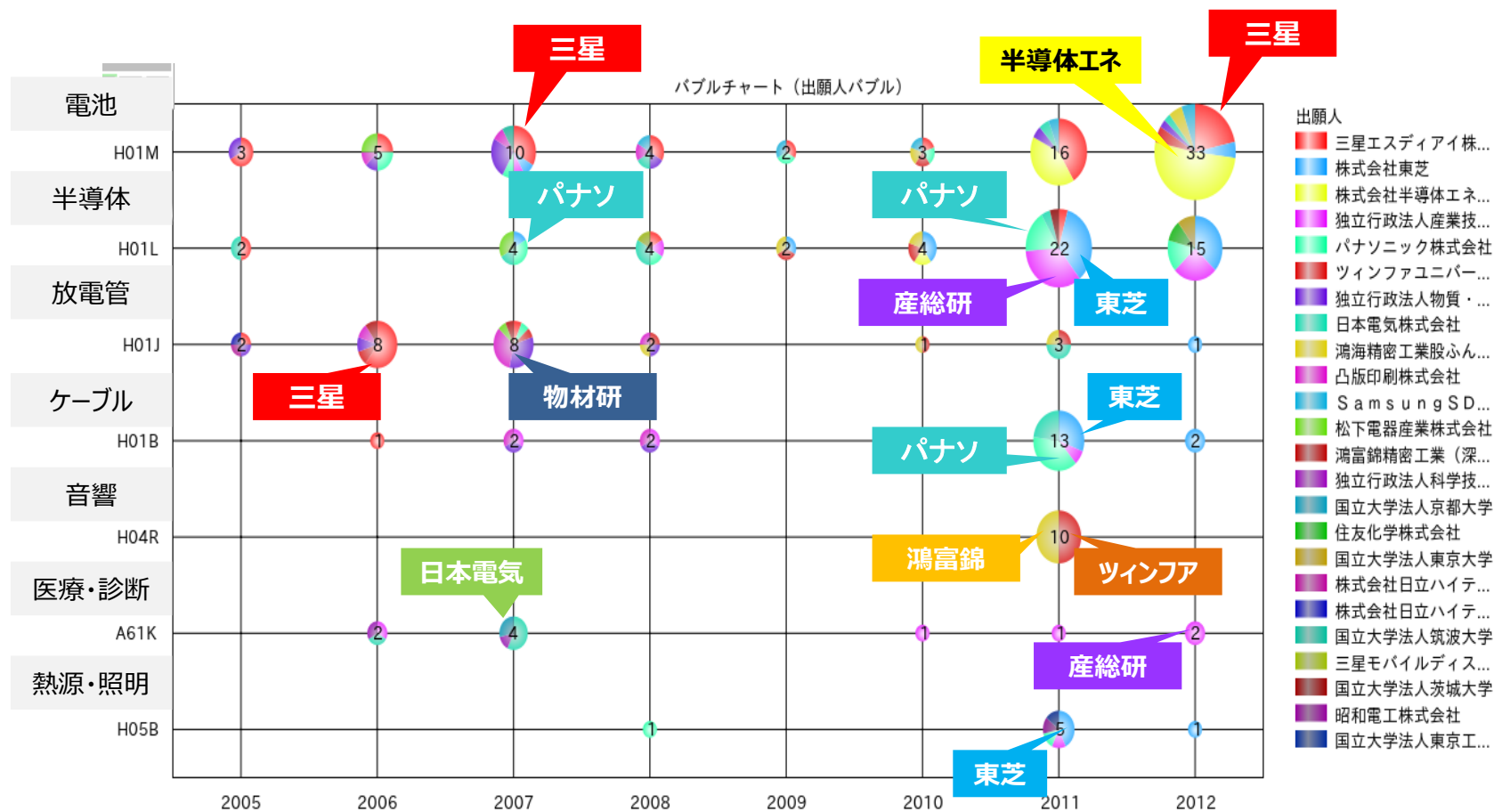


1-1 ナノ炭素材料技術（CNT／グラフェン）の用途展開動向

【図表】ナノ炭素技術の技術出願動向と主要企業



1-1-1

概観

H01J、A61K、H01Mの分野でのナノ炭素の用途展開が、2011年から再び、半導体、電池分野で活発化してきた。出願人もパナソニック、物材研、日本電気の主導から、東芝、半導体エネ、産総研に移行している。ツインファと鴻富錦の音響関係の出願が2011年に増加したが、2012年では低下傾向にある。